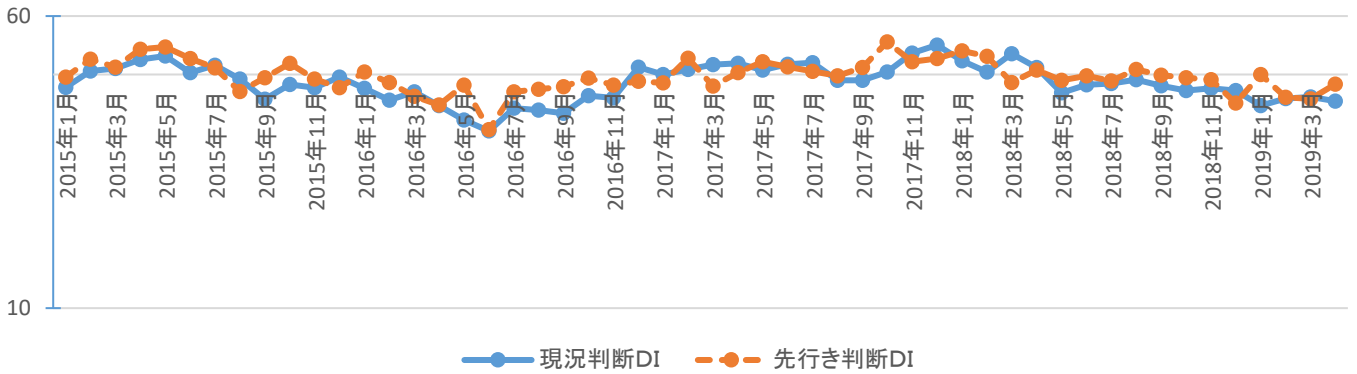


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2019年4月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《販売量の動き》温暖な気候の影響もあるが、飲料、ビールやサラダ用野菜がよく売れて、全体的に売上がアップした。【スーパー（総務担当）】
		不変	《販売量の動き》4月には新型車種の発表もあり、販売台数は会社全体で前年並みに推移している。【乗用車販売店（従業員）】
		やや悪	《来客数の動き》飲食店への客の来店が悪い。特に、月曜から水曜は客がゼロ、ないしは1組だけという店が多く出てきている。【一般小売店【酒類】（経営者）】
	企業 動向 関連	やや良	《受注量や販売量の動き》貨物の輸送量が4.6%の増加となっている。【輸送業（エリア担当）】
		不変	《取引先の様子》同じ業界内の仕事をしている会社は好調だが、一般消費者を客としている飲食店、美容院やクリーニング店などは苦戦している。この傾向は変わっていない。【会計事務所（職員）】
		やや悪	《受注価格や販売価格の動き》原料価格が全体的に上がっていて、製品価格の値上げを依頼しているが、具体的な原料価格の開示や製品価格に占める原料価格の構成比の開示を求められるなど、すんなりとはいかない。【窯業・土石製品製造業（社員）】
	雇用 関連	やや良	《雇用形態の様子》外国人雇用を増やすことで製造業は生産量が増加し、サービス業へも外国人雇用が拡大している。【人材派遣業（営業担当）】
		不変	《求職者数の動き》有効求人数は微増傾向で推移しているが、有効求職者については減少傾向で推移しており、なかなか就職件数が伸び悩んでいる状況にある。【職業安定所（所長）】
		やや悪	《求人数の動き》新規求人数は製造業で前年同月比7か月連続の減少である。主要産業をみると、前年同期比でプラスなのは卸小売業のみとなっている。【職業安定所（職員）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	客の様子やアンケートでは、ゴールデンウィーク中も意外と遠方への旅行は少なく、内食傾向が強いので、売上げが期待できる。【スーパー（総務担当）】
		不変	相変わらず客の財布のひもは固い。景気変動するような要因が見当たらない。令和に変わろうとしている今も、売上、客単価、来客数には変動がないのが大きな要因だと思う。【スーパー（総務）】
		やや悪	ゴールデンウィークの10連休は多くの家庭が外食すると思うので、一般のスーパーにはマイナス要因となる。ガソリンの価格の高騰による価格転嫁も考えられ、消費は減少する。【スーパー（店員）】
	企業 動向 関連	やや良	足元の動向とさほど違いはないが、やはり東京オリンピックの影響だと思うが、建築業、フィンテック、ITやAIといった業種に関しては、比較的例年よりも忙しいといっている従業員が多い。【金融業（従業員）】
		不変	半導体関係、工作機器関係共に、先がみえないという客が多い。今後の円相場等の動向によっても変動があると思うが、受注等に鑑みても、こししばらく2～3か月は景気が上向くような状況がみえない。【電気機械器具製造業（経営者）】
		やや悪	消費税上げを前にやや高額な物がこれまでより消費されるが、引上げ率が小さいため、以前のような買いだめや買い控えは顕著ではないようである。業界としては、軽油やガソリンの値上げが、じわじわと影響しそうである。【輸送業（役員）】
	雇用 関連	やや良	6月のボーナス支給後の転職に向けて、ゴールデンウィーク明けから転職活動者の数字も伸びてくることが想定される。【民間職業紹介機関（営業担当）】
		不変	求人には大きな動きはみられないが、特に中小零細企業においては継続して人手不足が深刻化している。【職業安定所（次長）】
やや悪		外部環境や消費税上げなど不透明感があり、求人を控える動きが続いている。【職業安定所（職員）】	